

OpenData Bridge season 2



dx-junkyard OpenData Bridge開発チーム

チームメンバー



企画・テスト

- ・ 自治体職員、企業、シビックテック等、たくさんの皆様にご協力いただいております

FrontEnd開発

- ・ FooQoo
- ・ ふくもと

BackEnd開発

- ・ 本橋
- ・ 中島
- ・ 浦川

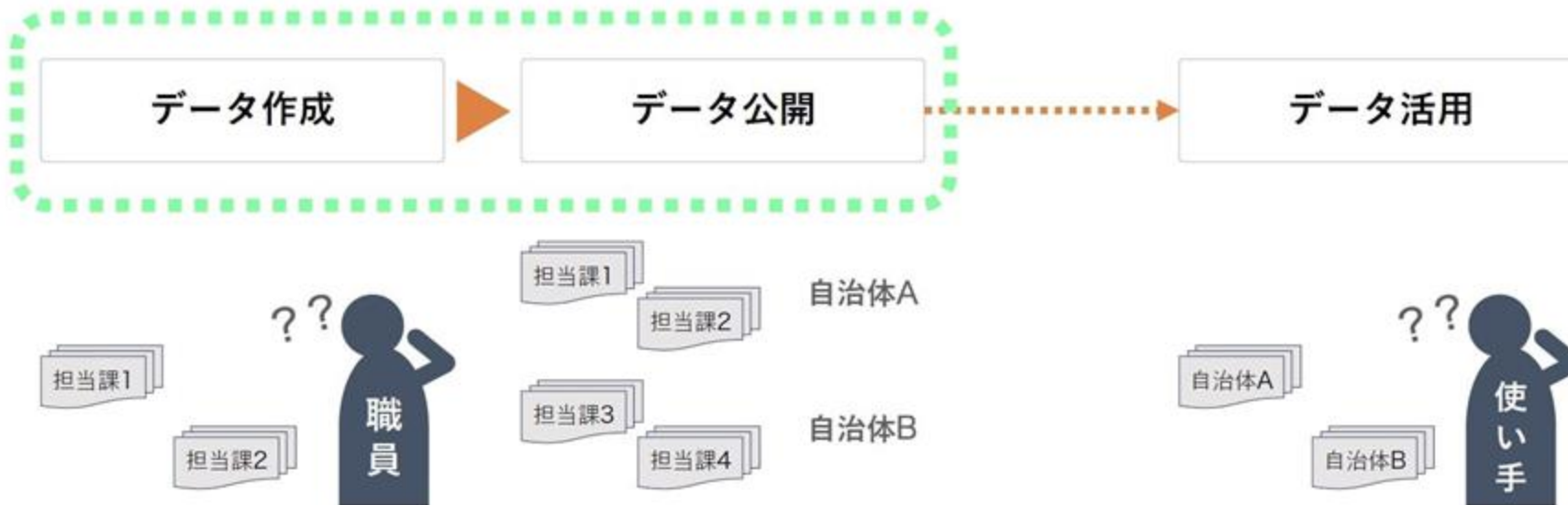


Q : OpenData Bridgeとは？



■自治体職員が様々な担当課をまとめて綺麗なデータを作るのは大変

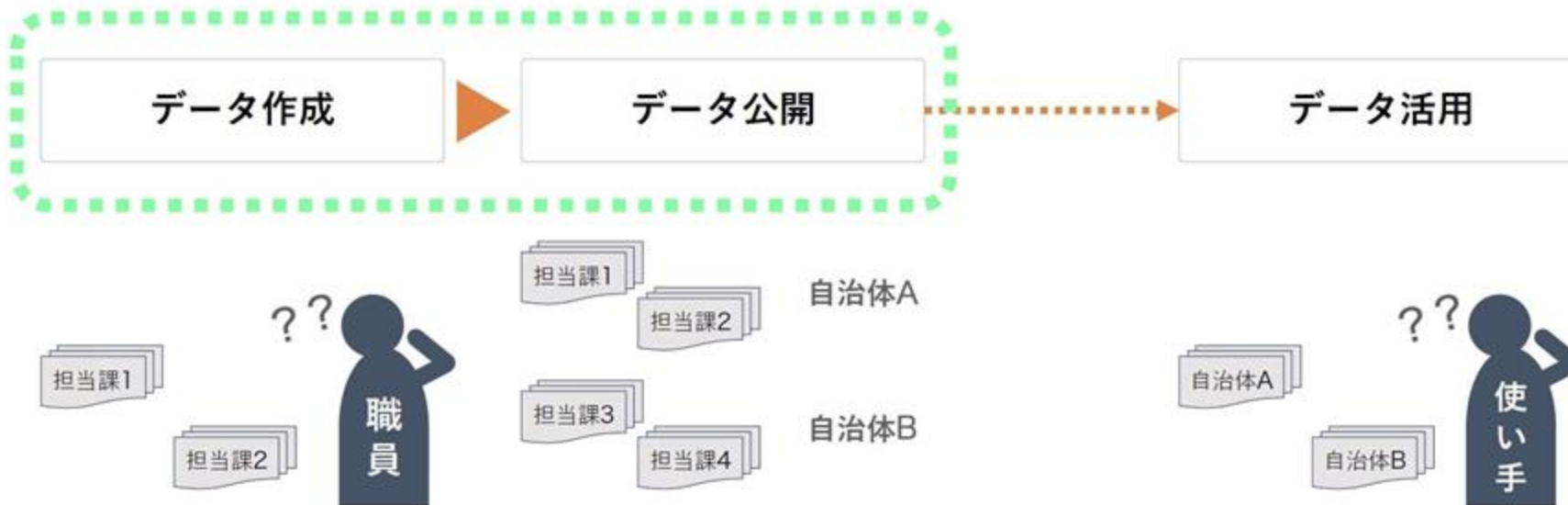
■使う側からしても、使いづらい状態のままデータが出てきている



A：簡単にデータ整形を行うツール

■自治体職員が様々な担当課をまとめて綺麗なデータを作るのは大変

■使う側からしても、使いづらい状態のままデータが出てきている



OpenData Bridgeの構造(As-Is)



ODB-Lab(UI)

自治体職員向けUI

- 自治体のデータ整形に特化したChatGPT風のUI
- AIとの対話でpdfやexcelからcsv・jsonへの変換を支援

※実績「[地方公共団体のオープンデータ取組支援ツールの実現可能性調査](#)」（デジ庁）

ODB-Library

整形処理と
pipelineの共有

- 処理パーツとpipeline定義の共有

※実績 行政サービスのカタログ化に関するプロジェクト2件

ODB-pipeline

自治体のデータ整形

- 処理を繋げて大量のデータを自動処理
例) 自治体のHPから様々なデータやファイルの情報を集積してカタログ化



今回の提案 (行政サービスのカタログ化を例に)

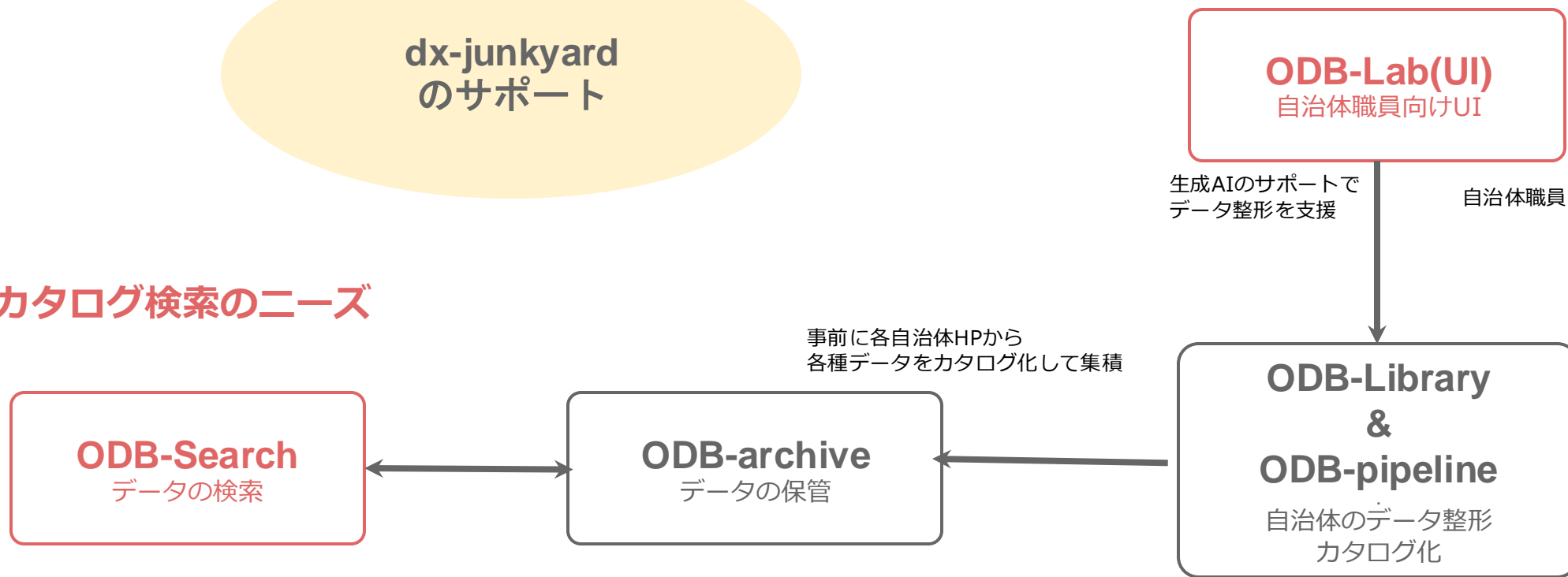


- ・ データ整形はツール提供しただけでは解決しない！

- ・ webアプリ -> デスクトップアプリ
- ・ 開発コストとセキュリティリスク低減

dx-junkyard
のサポート

- ・ カタログ検索のニーズ



ベクトル検索で関連データを取得



dx-junkyard

